



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Rotary 2021-22年度 国際ロータリーのテーマ



岩国西ロータリークラブ
HPのQRコード



撮影 細田正躬



岩国西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT, ROTARY CLUB OF IWAKUNI WEST

2021年10月29日(金)第2488回例会

《 地域社会の経済発展・米山月間 》

ロータリーソング「奉仕の理想」
「四つのテスト」唱和

ゲスト卓話 呉フォーク村代表
熊丸 祐次様
登志子様

『 音楽の力を信じて～ワクワクした第二の人生～ 』

次週11月5日(金)のプログラム

ゲスト卓話 木村保夫様
漫画家

国際ロータリー第2710地区 岩国西ロータリークラブ

事務局 〒741-0062 岩国市岩国一丁目1-7 岩国国際観光ホテル内
TEL (0827) 43-1323 FAX (0827) 41-1335
E-mail ro@iwrc.jp
HP <http://iwakuni-west.com>

例会場 毎週金曜日 12:30~13:30
岩国国際観光ホテル TEL (0827) 43-1111
会長/兼田 康史 副会長/大田 謙二 幹事/茶藤 淳一
編集者 雑誌会報委員長/柳崎 茂

四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



1) 「定例理事会」のご案内

次週例会後に開催しますので、役員・理事の方はご出席よろしくお願ひします。

2) R I 第2710地区「ガバナー候補者」推薦のお願い

2021-22年度ガバナー指名委員会より、地区内全域72のクラブに対し2024-25年度ガバナー候補者推薦のお願いがありました。

【期限】11/22(月)

3) 「地区・クラブ活性化ワークショップ」のご案内

ロータリーの主要部門(クラブ管理運営・公共イメージ・会員増強・奉仕プロジェクト・ロータリー財団・米山記念奨学会)について、会長エレクトの情報交換会が開催されます。

【日 時】11月23日(火祝) 10:00~17:00

【場 所】広島コンベンションホール 広テレビビル2階

【出席者】会長エレクト 田村巖

4) 「2021-22年度地区大会御礼状」について

国際ロータリー第2710地区ガバナー 杉川聡様より、10/17(日)に開催されました地区大会への参加協力に対して御礼状が届いております。

5) 「令和3年度 岩国航空基地自衛隊記念日 記念式典」について

新型コロナウイルス感染症対策として、今年も規模を縮小して11/11(木)に開催されることとなりました。

6) 11月度クラブスケジュール

【岩 国 西】 5日(金) ゲスト卓話 木村保夫様 漫画家
歴代会長会議 19:00~

12日(金) 岩国3RC合同例会 ゲスト卓話 吉川重幹様 吉川家第32代御当主

19日(金) 第1回情報集会報告

26日(金) ゲスト卓話 伊藤隆二様 (株)ミルテル営業部

【岩 国】 4日(木) ゲスト卓話 羽村一重様 岩国商工会議所青年部 会長

11日(木)※例会変更⇒12日(金)岩国3RC合同例会

18日(木) ゲスト卓話 松嶋伸幸様 岩国市体育協会 専務理事

25日(木) ゲスト卓話 森本洋一様 岩国中央RC・財団月間にちなんで

【岩国中央】 3日(水)※例会変更 休会(祝日)

10日(水)※例会変更⇒12日(金)岩国3RC合同例会

17日(水) 年次総会

24日(水) ゲスト卓話 山本清様 R I 第2710地区ロータリー財団委員長(呉南RC)

- 【大 竹】 2日(火)※例会変更 休会(祝日を含む週)
 9日(火) イニシェイションスピーチ 倉田真治様 広島信用金庫 大竹・玖波支店長
 16日(火) 公式訪問 卓話 ガバナー杉川聡様
 23日(火)※例会変更 休会(祝日)
 30日(火)※例会変更 休会(定款適用)



委員会報告

1)プログラム

くままる ゆうじ
熊丸 祐次 様 プロフィール
 昭和39年11月30日生(56歳) 広島県尾道市出身

昭和58年	神戸大学入学
昭和62年4月	中国電力入社 呉営業所配属
平成元年10月14日	呉市在住の妻と結婚(3人の娘、現在3人の孫に恵まれる)
平成7年	呉市に新居を構える
平成17年12月	軽音楽サークル「呉フォーク村」結成(呉市公益活動団体登録)
令和2年4月	中国電力ネットワーク(旧中国電力)岩国事業所 所長就任(岩国RC入会)
令和3年6月末	早期退職(第二の人生スタート)

2) S. A. A.

次週11/5(金)より上着・ネクタイ着用となります。

3) ロータリー財団

第2回100万ドルの食事(10/22分)として 67,704円をロータリー日本財団へ送金しました。

4) 出席

10月度出席状況 ビジター 2名 累計8,269名

	会員数	出席人数	当日出席率	メイクアップ	修正出席率
10/1	62名(免除2名)	53名	88.33%	5名	96.67%
10/7	62名(免除4名)	40名	68.97%	1名	70.69%
10/15	62名(免除1名)	52名	85.25%	1名	86.89%
10/22	62名(免除4名)	47名	81.03%	—	—

財団室NEWS 11月号 ロータリー財団月間 『公衆衛生の探偵たち』

2014年7月20日、人口千万人を超える大都市ラゴス(ナイジェリア)の空港で、リベリア系アメリカ人の男性が突然倒れました。その3日後、この男性はエボラ出血熱と診断され、同国で初のエボラ患者となりました。世界の主要都市のひとつでエボラウイルスが確認されたことは、「破滅をもたらす都会でのアウトブレイク(疫病の流行)」へのシナリオであると思われました。しかし最悪の大流行は免れ、その後同国でのエボラ感染者数はわずか19人、そのうち死亡したのは7人でした。世界保健機関(WHO)は、同年10月20日にナイジェリアでのエボラ終息を宣言。最初の症例から3カ月後のことでした。

終息のカギとなったのは、ロータリーが支援する「ポリオ根絶プログラム」、特にナイジェリア政府と他団体の間に築かれた強いパートナーシップ、およびポリオ根絶のために築かれたインフラでした。

エボラの発生を受け、ナイジェリア保健省は迅速に緊急事態宣言を発令し、ポリオ根絶プログラムをモデルとする指令センターを設置して対応にあたりました。同国でのポリオ根絶キャンペーンを援助した疫学専門の40人の医師から成るチームがエボラ対策に配属され、ポリオ根絶プログラムの技術面を担当する専門家たちが、接触者追跡や症例の管理にあたる医療従事者を研修しました。接触者追跡を行う150人のチームが18,500人に戸別訪問をしてエボラの症状をチェックし、最初の発症者(発端患者)を起点とする900人近い接触者リストを作成しました。エボラ出血熱のアウトブレイクを食い止めたのは、探偵のような昔ながらの現場調査でした。天然痘も全人口への予防接種ではなく、感染者との接触者を見つけ、その人たちにワクチンを投与することで根絶されました。接触者追跡は、ポリオ根絶に向けた進展においても重要な役割を果たしています。



ロータリーソング?! ⑰

ロータリーの例会では、会員みんなが歌を歌います。皆さんはみな当然のこととして歌っていますが、一体なぜ歌を歌うのでしょうか。

最初に歌い始めたのは、ロータリーが誕生して間もない例会であったといえます。『1905年のある秋の夜、例会で一時的な静寂が訪れた。会話のざわめきが止み、重苦しい沈黙が続いた。突然、ハリー・ラグルスが立ち上がり“みんな、歌おう！”の声掛け、当時流行(はや)っていた歌を何曲か歌った。以来、例会での斉唱はロータリーの伝統となった』と、ロータリー100周年を記念して出版された『奉仕の一世紀 ロータリー物語』にあります。

ご存知のようにシカゴクラブが創立したのが1905年2月23日、親睦と相互扶助でスタートしたロータリーですが、次第に仲間が増え、親睦を大事にする親睦派と、新しく提唱された社会奉仕を強調する改革派といつも激しく論争し、クラブ内はギクシャクし崩壊寸前であったといえます。みんなの確執や緊張を和らげるため『歌おう!』と提案したのが5人目に入会したハリー・ラグルス(印刷業)でしたが、これによってクラブが和み融和が保たれました。ラグルスの気転がクラブの雰囲気や危機を救った訳です。

クラブによって違いますが、歌う歌はロータリーソングだけでなく、みんなに親しまれた童謡や唱歌、さらにはクラブ独自に製作した歌を歌っているクラブもあります。(岩国RCはクラブソングを作っています)

『歌を歌う』ことを提唱したラグルスはソングリーダー(指揮者)となり、伝統的にロータリーの大会などにはソングリーダー役が設けられましたが、最近では殆んど見かけなくなりました。ソングリーダーといえば、わたしには恥ずかしくもチョッピリ誇らしい思い出があります。過って、岩国RCは品川資ガバナーを輩出され、わがクラブも副主幹として全面協力したのですが、新築間もない市民会館で行われた1981年10月の地区大会で、学生時代に合唱部で指揮していたことを知っていた淵田和生会員(淵田楽器社長)に依頼され、入会5年目の何も分からないまま『君が代』と『ロータリーソング』のタクトを振らせていただきました。今や当時のことを知るロータリアンは殆んど居られなくなりました。

さて、わが国独自のもので良く歌われている歌は、1935年(昭和10)5月の京都地区大会で入選した4曲のうち採用した2曲、「奉仕の理想」と『我らの生業』です。わがクラブでもよく歌われています。

1952年(昭和27)には、大阪の地区大会で『手に手つないで』、『それでこそロータリー』が発表され、特に『手に手つないで』は懇親会のフィナーレにいつも歌われています。

また、わがクラブでときどき歌う『友だちになろう』(Be A Friend)は、ビル・ハントレーRI会長(1994-95年度)のテーマソングでした。

ロータリーソングに公式・非公式はありません。例会や地区大会のはじまりに唄い、会員同士が声を合わせるによって生まれる連帯感や一体感、そして明るく和やかな雰囲気を醸すことが大事なことと思っています。

みんなが集う例会が楽しく有意義なひと時であることに願いを込め、大きな声で歌いましょう。

【西村榮時】



ハリー・ラグルス